会　議　録

会議の名称	令和６年度　第１回　和泉市健康づくり推進市民会議
開催日時	令和６年７月 11 日（水）午後２時～３時 30 分
開催場所	和泉市役所　別館 3-2 会議室
出席者 （敬称略）	【委員】 永田委員長、上嶋副委員長、北野副委員長、廉林委員、松山委員、沖田委員、西川（信）委員、西川（千）委員、早﨑委員、新海委員、細川委員、石橋委員 【事務局】 吉田副市長 子育て健康部　藤原部長 健康づくり推進室　高橋室長 健康増進担当　藤原課長、出口総括主幹、川上総括主査、松本総括主査
会議の議題	第３次健康都市いずみ 21 計画における達成目標の進捗について 第３次健康都市いずみ 21 計画の取り組み予定について
会議の要旨	1. 開会 2. 委員及び職員の紹介 3. 案件 (1)第３次健康都市いずみ 21 計画における達成目標の進捗について (2)第３次健康都市いずみ 21 計画における各機関等の取組予定について (3)第４次健康都市いずみ 21 計画の策定について 4. 閉会
会議録の作成方法	□全文記録 ■要点記録
その他の必要事項	傍聴人：0人

審 議 内 容
1. 開会 ・事務局より議事、資料、本日の流れの確認。 2. 委員及び職員の紹介 ・和泉市医師会、和泉市町会連合会、大阪府和泉保健所について委員変更を報告。 3. 案件 (1)委員長の選出 ・委員の変更に伴い委員長が未定となっているため、設置要綱第 5 条の規定に基づき、委員の互選により委員長に永田委員が承認。 ・委員長より開会の挨拶。 私は、「第3次健康都市いずみ21計画」について計画策定に関わらせていただき、今回、この計画が最終年度を迎えるという節目にも携わることとなった。 市民が「自分らしくいきいきと暮らせる健康都市いずみ」の実現をめざし、参画団体の皆様には、各分野で取組を実施していただいているところである。 本日の案件にもあるが、今年度は、第3次計画を実施しながら、第4次計画を策定することになる。各団体には、これまでの取組の評価をしていただくと共に、引き続き、専門性や持ち味を活かした取り組みを実施していただくようよろしくお願いしたい。 この市民会議が和泉市民の健康増進につながるよう、円滑で活発な運営に努めたいと考えている。 皆様方には、活発なご意見と、会議の円滑な運営にご協力の程、よろしくお願いしたい。 (2)前回の振り返り ・事務局より資料1を説明。委員より以下 2 点の意見あり。 ・市民委員:前回の市民会議以降の状況共有として、和泉地域活動栄養士会から出前講座を実施いただけるという情報がありましたので会議の日に名刺をいただきサロンでの公演依頼をした。4 月に打ち合わせを実施し、“食生活と健康”というテーマで 6 月に地域の老人集会場で講演会を実施、サロン参加者だけでなく老人会にも声かけたところ大変好評であった。市民の取り組みとして既にスタートしている旨をお伝えしておく。 ・和泉市医師会:和泉市の特定健診の受診率は 39.6%と泉州地域ではトップクラスだが、国の目標 60%には及ばないため、引き続き取り組みを進めてもらいたい。 (3)第 3 次健康都市いずみ 21 計画における各機関等の取り組み予定について ・事務局より資料2に基づき報告。 栄養・食生活分野では、№46 について、6/1、2 に開催されたワクワク Expo 全国大会にて和泉の食育としてブース出展し、約 700 名の来場者があった。市ホームページにも様子を公開している。健康チェックでは、№54 今年度より心不全リスク検査を導入、№55 個別の受診勧奨を行い受診率向上取組を図っている。歯・口腔の健康では№67 今年度より歯周病検診 20 歳 25 歳にも拡充。健康づくりに係る取り組みは庁内連絡会議を開催し関係課での共有・推進を図っている。9/16 に開催予定の和泉市民健康まつり

では健康づくり推進市民会議ブースを設け、健康寿命延伸に関する啓発や特定健診のPRなど関係課と協力して実施していく予定である。

・各団体より資料3に基づき報告。

〈医師会〉

・地域や団体での活動、イベント、健康まつりなどを活用し、心不全や慢性腎臓病（CKD）の早期発見・予防に努めていく。特に、「心不全検査」は隠れ心不全を見つける画期的なもので、実施を進めていきたい。

〈薬剤師会〉

・おくすり教室と薬物乱用防止教室を実施しているが、特にオーバードーズなど薬物　問題がある中で、解決に向けてのアドバイス等が出来ればと考えている。

・健康まつりは4年ぶりだが薬剤師の入れ替わりがあるため、初回のつもりで臨み、今回の経験を踏まえて来年度に繋げて行く予定である。

・6/1、2 に開催されたワクワク Expo 全国大会について、食育推進連絡会議で関わっていることもあり見に行ったところ、大盛況の様子であった。

〈歯科医師会〉

・健康まつりについて、コロナの影響もありブラッシング指導など検討が必要である。口内炎が治らないので口腔外科を受診したら悪性腫瘍だったというケースが散見されるため、健康まつりでは口腔がん検診を行う予定であり、啓発も行いたい。また、健康相談も入れていきたい。

・後期高齢者歯科検診のデータを和泉市から提供いただき、糖尿病のリスクのあるケースについて個別に受診勧奨する予定。

・検診事業にお力を入れており、歯周病検診では今年度より 20 歳 25 歳も対象に入れ、若い世代から歯の重要性を理解いただきたい。

・歯の本数と認知症、進行度合いとは関連があるというエビデンスもあり、健康まつり等で周知していきたい。

〈地域活動栄養士会〉

・健康まつりでは、気軽に相談できる栄養相談や一般相談コーナーを設ける予定。

・4 月から SNS で出前講座の募集を行ったところ 4 月中旬には今年度の枠が埋まるほど多くの応募をいただいた。来年度は枠を増やすかどうか検討している。
アルコールについては、周知、啓発を行っていく。

〈食生活改善推進協議会〉

・コロナの影響も少なくなり、料理教室を従来通りの人数で募集し親子料理教室も開催する予定。

・健康まつりについて、味噌汁の試飲による塩分チェックなどを行いたかったが、コロナ感染に配慮し時期的に見合わせることになり、代替案を検討中である。
今年は当委員会の活動の啓発に力を入れて行く。

〈和泉保健所〉

・健康まつりでは、健活 10 に関わる内容を発信予定。

・地域と職域の連携について、健診受診率向上は地域の共有の課題であり、ナッジを活用したポスター作製を検討している。
・糖尿病と歯周病は関連が強いため、チラシを作成して周知する予定、活用ください。
・大阪府の健康づくり課で各市町の健康カルテを作成しており、ぜひ活用いただきたい。和泉市の特徴として、若い世代での糖尿病治療者や、高齢者での早食い、喫煙率が高いなど特徴がある。

〈町会連合会〉
・各地区で夏祭りなど地域のイベントを通じ地域コミュニティの活発化を図っている。老人クラブ連合会との連携でグランドゴルフなどの活動もしている。
・青少年指導員の見守り活動を通じ未成年の受動喫煙や喫煙防止の取り組みをしていきたい。

〈老人クラブ連合会〉
・「教養（今日用）と教育（今日行く）で健康寿命を延ばそう」をテーマに家に閉じこもらないで外に出て活動しようと取組を行っている。
・老人クラブの会員は毎年 500 人程度減少しているが、他市町と比較すると減少の程度は少なく、大阪府下でも人数が比較的多いクラブとなっている。最近は高齢者の運転による事故も多いため、南北に広い和泉市では会場までの移動手段がないこともイベント参加者減少の一因ではないか。65 歳後半～70 歳代前半の入会率が悪い。魅力的な老人クラブを目指してイベントを提案していきたい。

〈社会福祉協議会〉
・あらゆる世代と接する事業があり、早期発見・早期対応を目指して活動を行っている。

〈スポーツ推進委員協議会〉
・ニュースポーツフェスタ、子ども向けの走り方教室、歩こう会などを開催している。

〈障がい者団体連絡協議会〉 事務局より代理報告
・資料 4 のとおり

〈市民委員〉
・市民委員として点から線へ、線から面へと情報拡散が役割と思っている。達成目標捗が、皆が行っている取り組みが、市行政が示す「市民が自分らしくいきいきと暮らせる“健康都市いずみ”」に向けての具体的な取組にきちんと落ちているという気がする。1 点目は地域での健康づくり、もう 1 点は各種活動への参加を行っている。情報集め手段として度々地域に足を運び地域の人との会話を心掛けているが、その中で健康づくりや健康維持の手段や方法といった話題を心掛けている。貸農園を行っているところへ伺ったところ、貸農園を通して様々な交流の機会が増えたという意見をいただいた。また、日本老年学的評価研究機構の研究にて、要介護認定2の対象者で、趣味がある人、ボランティア活動に参加している人は要介護状態の悪化が低下したという結果もある。老人クラブ活動もボランティア活動も広い意味で趣味、無理やりするものではなく“楽しいと感じることを楽しみに行えること”が本来の姿と思う。計画で示す「市民が自分らしくいきいきと暮らせる」というのは根幹を示しているものもと思う。
・ヘルサポとして、市民健康まつりに参加し、青竹踏みやこころいずみダンスなどの催し物

を行う予定である。市民委員としては、ここで得られた情報をいろんな場で広めて行きたいと思っている。

〈委員長〉

基本目標にある健康寿命の延伸のため、心不全に至る前に処置をし、健康寿命を延ばすことを医師会として取り組んでいる。認知症、フレイル、社会的孤立が、健康寿命を縮めると考えており、各団体の取り組みは健康寿命延伸に効いてくると思う。第4次計画においても歩みをとめないでいただきたい。

(4)第 3 次健康都市いずみ 21 計画における達成目標の進捗について

・事務局より資料 4 を説明。

(5)第 4 次健康都市いずみ 21 計画の策定について

・事務局より資料5を説明。

(6)その他

・追加資料について、これまでの市民会議での振り返りから、残された課題や次期計画向けての新しい取り組みや効果的な取り組みの提案について、書面にて意見等を照会するものであり、7月26日(金)までに、返信を依頼。

・次回は令和 7 年 3 月頃開催予定。

4. 閉会

・吉田副市長より閉会の挨拶。

効率的な議論をいただいたが、追加のご意見については、追加のアンケートにご回答いただく形でいただきたい。漏らさず受け止めて次回にフィードバックさせていただく。

また、本日は様々な視点から多様なご意見をいただいた。特に現場からの重みのあるご意見をいただきありがたく感じている。

我々も本日の会議が円滑に進むよう、事前に準備を行っており、皆さまからいただいた意見を次期計画に活かしていこうという話をしている。

次回市民会議の頃には次期計画が大方出来上がっているため、間に行われる検討委員会で十分にご議論いただきたい。より多くの代表の方々のご意見を取り入れる次期計画にしたいと考える。

また、2 点目として、市としての取組がどのように次につながっていくかを分かりやすく示そうという話もしている。本日の資料2では行政の取組、資料4ではその結果を示しているが、市としての取組と、その結果どのようになったかをより明確に示したいと考える。皆さまからも、効果的な取組についてご意見をいただきたい。

次に、次期計画策定に向けて、ウェルビーイングを視野に入れて政策を検討し直すよう市長からも支持が出ている。

身体的な健康のみではなく、幸福感や生きがい、地域における関わりも含めた健康・ウェルビーイングに向けて取組を進めたい。最近では健康ではなく健幸という表記がされることも多いが、縦割り行政を乗り越えて、ウェルビーイングの実現に取組みたい。また、社会全体がウェルビーイングに向かわないと、個人への介入は難しいため、次期計画では社会

での取組と個人での取組の両面で進めたいと考える。
いずれにしても、国や府の計画や方針を先取りする形で和泉発の健康づくりを進めていきたい。